

お知らせ「45kgの麻袋は1000袋をもちまして終了します」

顧客様各位 殿

拝啓 向暑のみぎり皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素よりひとかたならずご愛顧を頂きましてありがとうございます。

豊浦珪石鉱業株式会社は昭和30年8月1日、創立以来67年間の月日が経ちました。

昭和30年時代、戦後の色をまだ残す我が国でしたが、日本の戦後の復興と共に、近代化の象徴である高層ビルや、コンクリートの建物等が、急成長し、使用も増え、そのセメントの強度試験砂、「標準砂」として、多くの貢献をした珪砂が、弊社の豊浦珪砂でございます。

しかし、平成9年に、国の規定が変わり、豊浦珪砂が「旧標準砂」となり、豊浦珪砂と言う名称で、その後は、土質学、土質工学、地質学等に大変多く使用され、地震の液状化、土砂くずれ等の自然災害の研究に最適な砂として、現在使われております。豊浦珪砂は、我が国の近代化への発展と、国土安全のために、多くの役割を果たしてきた珪砂（シリカサンド）でございます。

67年間、行って参りました弊社の商品の荷造り方は、45kgの豊浦珪砂を3重の紙袋に入れ、先代から変わることなく受け継がれてきました包み方で、小さな粒子の砂を包み、それを麻袋に入れ、手製で作った針金を、何回も廻して、麻袋をしっかりしめます。プラスチックバンドと言う物を使えば簡単に出来る事を、私共は、あえて昔ながらのやり方で継続し、持続可能な（サステナブル）経営を今日も、そして、これからも、やり続けて参ります。

この度、皆様にお知らせしたい事がございます。

67年間、上記に説明いたしました様式の荷造り、荷姿で、45kgの重さの商品を販売致しておりましたが、現在の世相に合わせ、重さを少し軽くし、25kgに致します。弊社の麻袋は、トレードマークでございますので、変える事はありませんが、袋の印刷の字も前とは少し変わります。大きく違うところは、ロープをかけることはせず、麻袋の止め方も違う形態になります。荷姿は前とは変わります。

約1000枚、従来の麻袋がありますが、これが完売次第、1袋45kgの麻袋の販売を終了します。1000枚ですべて終わりです。お客様の中には、45kgの量が使い勝手が良かったとか、最後になるなら、購入したいとか、いろいろな思い入れがございましょう。

どうぞ、1000枚の枚数がある間、懐かしき時代、昭和の日本を、彷彿させる思いで、ご購入されてはいかがでしょうか？ 67年という、一時代が終わります。

今後25kgのサイズになりますと、約2倍の数量が、従来の量と同じほどになりますので、

良しも悪しも、多数の量になります。ご都合に合わせて是非ご検討下さいませ。

麻袋は、今後も変わることはありません。高質品で最良の豊浦硅砂は、これからも続けて参ります。この1000枚が終わりましたら、次の弊社の商品の荷姿は変わりますが、内味の硅砂は従来と同じクオリティを有するシリカサンドでございます。

新しいお知らせとしまして、粒が従来の硅砂より約0.2mm程、大きいシリカサンドも販売致します。そのため、従来のシリカサンドをA砂と名付け、それより0.2mm粒の大きいものをB砂としまして、2種類の商品を販売致すこととなります。

B砂に関しましては、只今準備中でございますので、まだ販売に致っておりませんが、販売準備が整いましたら、詳しくお知らせを致します。

これからも今まで通り業務を続けて参りますので、今後とも変わらぬご愛顧を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

2022年6月吉日

豊浦硅石鉱業株式会社

代表取締役 塩川 真里